

図表 4-35 「乾燥人フィブリノゲン フィブリノゲンHT-ミドリ」(1987 (S62) 年6月版)

乾燥人フィブリノゲン
フィブリノゲンHT-ミドリ
Fibrinogen HT-Green Cross

- 60°C、90時間加熱により殺菌中に注入しているから知らない病原ウイルスによる感染の危険性を低減しました。
- HBs抗原抗体、抗HIV抗体陰性の献血人より得た血液から調製しています。
- 加熱処理によるたんぱく質変性は認められていません。

フィブリノゲンHT-ミドリ インフォームーション	
商品名	乾燥人フィブリノゲンHT-ミドリ
学名	Fibrinogen HT-Green Cross
一般名	乾燥人フィブリノゲン
製法	注射用
製造販売元	武蔵野薬業株式会社
製造	東京都武蔵野区
販売	全国各薬剤店
お問い合わせ先	武蔵野薬業株式会社 営業課
TEL	03-3461-1111
FAX	03-3461-1112
URL	http://www.wakayama-pharm.co.jp

<p>【組成】</p> <p>本剤1瓶中の乾燥人フィブリノゲンの量は、ほぼAと所定のpHに調整した溶液となる。</p> <p>乾燥人フィブリノゲン 1g</p> <p>ブドウ糖 1.600mg</p> <p>安定剤 日局 アミノ酸トリス 500mg</p> <p>注射用水 50ml (全量50ml) を含む。</p>	<p>【用法】</p> <p>本剤は、乾燥人フィブリノゲンHT-ミドリを、必要量の小瓶の液に溶解して使用する。</p> <p>溶解後、必要量の小瓶に注入する。通常1回1-5gを用いるが、医師により本剤の用量が決定される。</p>
<p>【性状】</p> <p>本剤は、乾燥人フィブリノゲンHT-ミドリを、必要量の小瓶の液に溶解して使用する。</p> <p>溶解後、必要量の小瓶に注入する。通常1回1-5gを用いるが、医師により本剤の用量が決定される。</p>	<p>【注意】</p> <p>1) 本剤は、乾燥人フィブリノゲンHT-ミドリを、必要量の小瓶の液に溶解して使用する。</p> <p>溶解後、必要量の小瓶に注入する。通常1回1-5gを用いるが、医師により本剤の用量が決定される。</p>

出所) H13.3.26 ウェルファイド社報告書 参考資料2